



# まき ほんよう 榎の本葉

上牧第三小学校 学校だより

2022(令和4)年  
4月18日(月) No.01  
発行責任者 大河内 渡



## 桜満開

今年度、始業式と入学式は、満開の桜が咲く中で行うことができました。

リモートでの始業式ではありましたが、みんなこれから始まる1年間に、わくわくしている様子でした。

入学式では、在校生の姿や来賓の方々のご臨席はなく、保護者の皆様と教職員での参加となりましたが、新たに51名の新入生を迎えることができました。檀上で新入生に話をしたとき、緊張しながらもキラキラとまっすぐに見つめる瞳に、言葉を掛けながら、思わず感動でうろっとしていました。

全校児童309名、教職員38名でのスタートとなります。コロナ禍の中、今年度もお願いすることが多いとは思いますが、教職員一同精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 町の木「榎(まき)」

上牧町のホームページには、「榎の木は庭木としてよく植えられています。幹はまっすぐに伸び、葉は密生していて上を向いています。しかも決して下を向かないといわれています。この木のように人の心もまっすぐで、太陽に向かってすばらしい住みよい町作りをイメージしています。」とあります。

本校にも素晴らしく立派な榎の木があります。校章にも三枚の榎の葉がデザインされています。「心がまっすぐで上を向いて歩んで行く、そんな大人になってほしい」といった願いが込められているのかなと想像しました。

そこで、「榎の木の子ども」という意味で、今年度の学校だよりのタイトルを「榎の本葉」(まきのほんよう)としました。



## 温故知新

この4月から、上牧第三小学校の校長に着任しました大河内渡(おおこうちわたる)です。よろしくお願いいたします。

本校では、教員として2年間、教頭として2年間お世話になりました。校長としては1年目ですが、全体としては5年目となります。立場は変わりましたが「子ども第一」は変わりません。校長一年生、至らぬ点多いと思いますが、温かく見守っていただけると幸いです。

「温故知新」(おんこちしん)とは、「故きを温ね、新しきを知る」(ふるきをたずね、あたらしきをしる)とも読み、「過去に起こった出来事をよく調べて学び、そこから新たな知識を得る」という意味で、今年度の自身のめあての一つです。

本校は、四半世紀の歴史を刻み、今年度26年目を迎えました。新たな節目の始まりを感じました。また、ハイブリッド授業(通常の授業とリモート授業を同時に行う授業)も始まるなど、子どもたちを取り巻く学習環境も(内容もですが)大きく変わろうとしています。

これまで本校が大事にしてきた伝統を継承しつつ、新しいことにもチャレンジしていく、そんな学校にしたいです。

